

# 「平成 17 年度施策評価結果」に対する市民意見募集結果について

## 1 結果公表及び意見募集方法

- (1) 市ホームページ上に『新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」平成 17 年度進捗状況』として評価結果及び意見募集方法を掲載
- (2) 情報プラザ、区役所、市民館、図書館等に『新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」平成 17 年度進捗状況』の冊子を配置
- (3) 市政だより 9 月 1 日号に意見募集記事を掲載

## 2 意見募集期間

平成 18 年 9 月 1 日（金）から平成 18 年 10 月 6 日（金）まで（延べ 36 日間）

## 3 意見提出方法

- ・電子メール
- ・電話、FAX
- ・郵送、持参等

## 4 意見募集結果

- (1) 提出意見数 36 件

- (2) 内容別内訳

1 公表方法に関するもの	5 件
2 評価手法に関するもの	10 件
3 評価内容に関するもの	5 件
4 政策評価委員会の審議結果に関するもの	1 件
5 施策・事業内容に関するもの	6 件
その他の意見	9 件

- (3) 主な意見と市の考え方

次ページのとおり。

内容項目	意見等の内容	意見等に対する市の考え方
<p>1 公表の方法について (5件)</p>	<p>冊子資料の内容が膨大であるので、今後は冊子の貸し出しを配慮してほしい。 公表にあたっては市民に見やすい工夫をしてほしい。 (同様意見他2件) 評価制度も併せて分かりやすい方法で公表をしてほしい。</p>	<p><u>冊子の貸し出しにつきましては、次回公表時には対応してまいります。</u> 、市のホームページによる掲載については、政策体系ごとに帳票がご覧になれるよう、また、<u>評価制度の仕組みをより分かりやすく説明するなど、見やすい工夫をしてまいります。</u></p>
<p>2 評価手法について (10件)</p>	<p>結果を市民に公表し市民の意見を聞こうとする姿勢は、P D C Aのプロセスとして先ず評価したい。このプロセスを形式化させず、結果が次のアクションに活かされるよう運用してほしい。(同様意見他1件) 事業執行過程に Check (評価)・Action (改善)が入ったことは評価できる。 市民の視点に立った評価を行ってほしい。 (同様意見他2件) 評価結果から事業の優先付けが重要であるので、その点を職員が意識をもって実施してほしい。 成果を説明するには、一定のレベルがわかる目標値が必要ではないか。 施策評価は内部評価であるので、第三者による客観的な評価も必要ではないか。 (同様意見他1件)</p>	<p>、評価結果を市民に分かりやすく公表するとともに、政策評価委員会及び市民の方からいただいた意見については、<u>評価制度の改善や今後の計画事業の執行過程に適切に反映してまいります。</u> 成果の把握にあたっては、課題解決がどの程度図られ、<u>市民など需要者側にとってどのような効用があったのか</u>といった視点から評価するよう徹底してまいります。 社会環境の変化による新たな課題や課題解決を図る上での阻害要因などを把握し、今後取組む方向性を検証して次年度以降の計画事業を効率的・効果的に執行を図ることが重要ですので、<u>P D C Aサイクルの仕組みを定着させ、成果重視の行政運営を推進してまいります。</u> 成果の把握にあたっては参考指標を設定し、サービスの質や内容の変化を含めて総合的に判断しております。今後は<u>施策課題の目指すべき方向や状態についてより明確にし、分野別計画などで目標値が設定されている場合には、それを目標に据えるなどの工夫をしてまいります。</u> 市民への説明責任を果たすとともに的確にP D C Aサイクルを推進するためには、行政自らが評価を行うことが重要と考えています。評価内容が膨大であり分野も多岐に渡ることから、<u>市民の方の関わりや関心のある施策について評価していただきご意見をいただく中で、評価内容の精度を上げるとともに、計画事業の執行過程に意見を適切に反映することが重要であると考えています。</u></p>

<p>3 評価内容について (5件)</p>	<p>参考指標をアウトプット(事業量)で表すことなく、市民満足度や成果指標で表せないか。評価内容について定性的な説明のものが多く感じた。</p> <p>設定されている指標が正しいものであるか検証が必要である。(同様意見他1件)</p> <p>行政の課題や考え方を知らずにつかっけになるが、内容が市民には難しい。</p>	<p>、 施策評価では成果が客観的なものとなるよう参考指標を設定し、可能な限り数値を用いて結果をお示ししていますが、<u>指標の設定については、市民と直接関わる事業を主とする施策課題を中心として、簡易なアンケートや調査によって利用者満足度等の把握を行い指標とする</u>よう努めてまいります。</p> <p>指標の設定については、政策評価委員会においても指標の妥当性について検証し、ご意見をいただいたところであります。また、市民の方から指標についてのご意見を伺いながら<u>改善・改良</u>に努めてまいります。</p> <p>評価内容がどのような視点から記載されているかなどの説明と併せ、評価制度の仕組みについて市ホームページで掲載し、<u>分かりやすいものとなるよう工夫</u>してまいります。</p>
<p>4 政策評価委員会について (1件)</p>	<p>「政策評価委員会」による検証は概ね客観的で市民の目線が活かされており、検証方法、検証結果、改善意見も適切であり、指摘された改善が次年度にて実現するよう期待する。</p>	<p>政策評価委員会からいただいた意見を踏まえ、次年度における<u>評価手法の改善等に適切に反映</u>してまいります。</p>
<p>5 施策・事業内容について (6件)</p>	<p>施策に対する取組要望(5件：シニア関係2件、子育て関係1件、川崎駅周辺地区の整備1件、自治推進関係1件)</p> <p>施策課題の体系に関する意見(1件：市バス事業の効率的な経営とサービスの向上)</p>	<p>取組要望等については、<u>今後の企画立案等の参考</u>とさせていただきます。</p> <p>政策体系上の検討になりますので、<u>次期実行計画を策定するなかでの検討項目</u>としてまいります。</p>